



ディプロマプログラム (DP) の影響に関する主な研究結果

国際バカロレア (IB) のリサーチ部門は、世界各地の大学や研究機関との協力の下、厳密な調査を実施し、IBが提供しているプログラムの影響と成果を確認しています。本資料では、IBの依頼によって実施されたディプロマプログラム (DP: Diploma Programme) についての研究結果を報告します。これらの研究は、能力とスキル、公平性とアクセス、および高等教育機関での結果という3点を主なテーマとして行われました。

DPの生徒の能力とスキル

オーストラリア、イギリス、ノルウェーで行われた研究では、DPに参加したことで高いレベルの批判的思考が養われたかどうかを調べました。その結果、IBの生徒の批判的思考のレベルは、IB以外の生徒に比べ有意に高いことが示されました。この優位性は、マッチングしたIBの生徒サンプルとIB以外の生徒サンプルによる比較でも確認されました。¹ さらに、11年生に比べて12年生で、DPの生徒の優位性がより顕著に示されました。このことは、IBの生徒とIB以外の生徒の批判的思考の差異が、DPで学習する間に拡大することを示唆しています (Hopfenbeck et al 2020)。

6か国 (オーストラリア、ドイツ、日本、メキシコ、スペイン、米国) を対象にした調査では、DPとキャリア関連プログラム (CP: Career-related Programme) のグローバルな視野を測定しました。世界価値観調査 (WVS: world values survey) を用いて、同年齢層のIBの生徒とIB以外の生徒の間のベンチマーク比較を行いました。6か国すべてにおいて、DPとCPの生徒は、WVSのベンチマークグループに含まれる生徒よりも高いレベルの国際的な視野をもつことが示されました (図1)。また、6か国中5か国において、DPの2年次の生徒はDPの1年次の生徒よりも国際的な視野のレベルが高まっていました (Gándara, Reeves, Schmenner 2021)。

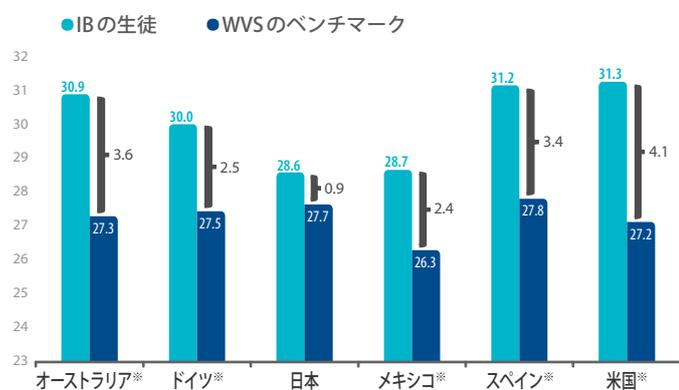


図1: IBの生徒のグローバルな視野のレベルをWVSの国別ベンチマークと比較 注: アスタリスク (*) は、有意水準5%における統計的有意差を示しています

グローバルに実施された大規模な研究で、創造性・活動・奉仕 (CAS: creativity, activity, service) の影響を評価するため、生徒、卒業生、学校コーディネーターの認識を調査しました。この調査の参加者は、CASによって「新たなことに挑戦する」「根気よく努力することを学ぶ」「より良い対人スキルを開発する」などの能力が高まったと感じていました。さらに、DPの卒業生と現役の生徒が、CASを通じて向上した点として、「コミュニケーションをとる力」「新しい挑戦を受け入れる意欲」「協働する力」という性質を挙げました (Hayden et al 2017)。

DPの公平性とアクセス

コスタリカ、アルゼンチン (ブエノスアイレス)、ペルーで行われた調査では、公立校におけるDPの実施とその影響を分析しました。すべての学校において、教師は高い意欲と積極性をもってDPに取り組んでいました。その大きな理由としては、プログラムの性質、および生徒の意欲が高いことが挙げられます。全体として、この3つの教育制度の生徒たちは、DPに対して非常に肯定的な見方をもっていました。特に、リサーチスキルと批判的思考スキルが養われる点を、高く評価していました。また生徒は、DPの学習スタイルや教師と緊密な関係を構築できる点に価値を見いだしていました (Beech, Guevara, del Monte 2018)。

主に低所得世帯の子どもたちが通う米国の公立校では、DPの生徒の高校および高校卒業後の進路と成果を複数年にわたって調査する研究も行われました。その結果、DPの生徒はIB以外の生徒に比べ、意欲が高く、積極性があることが示されました。IBの生徒は平均的に、SATのスコアと高校のGPA (成績評価平均値) の両方において、IB以外の生徒よりも高い結果を出していました。また、IBに参加することが、大学の学修継続率と卒業率に有意に好ましい影響を及ぼすことも示されました。さらに、DPの卒業生は、DPのおかげで大学での課題に効果的に取り組むことができたことと報告しています。特に、記述スキル、批判的思考スキル、学問スキル、時間管理スキルの向上にDPが貢献したと感じていました (Aldana, Mayer, Ee 2020)。

1 傾向スコアマッチング法と呼ばれる統計的な手法を用いて、類似した特性をもつIBの生徒サンプルとIB以外の生徒サンプルをマッチングして、比較対象を構築しました。

DPの生徒の高等教育での成果

大規模な定量的調査で、2013年に米国の高校を卒業したDP志願者（ディプロマ資格の取得を目指す生徒）（n = 18660）の**高校卒業後の成果**を調査しました。² その結果、以前の研究結果（Bergeron 2015; Halic 2013; Caspary 2011）でも示されたように、DP志願者の84.6%が高校卒業後すぐに大学に進学しており、全米の大学進学率の66%と比べて高い数値となっていることがわかりました。また、高校卒業後すぐに大学に進学した生徒のうち翌年も同じ大学に通った生徒の割合は、全米平均80%に対して、DPの生徒では90.4%でした。（図2）（Pilchen, Caspary, Woodworth 2020）

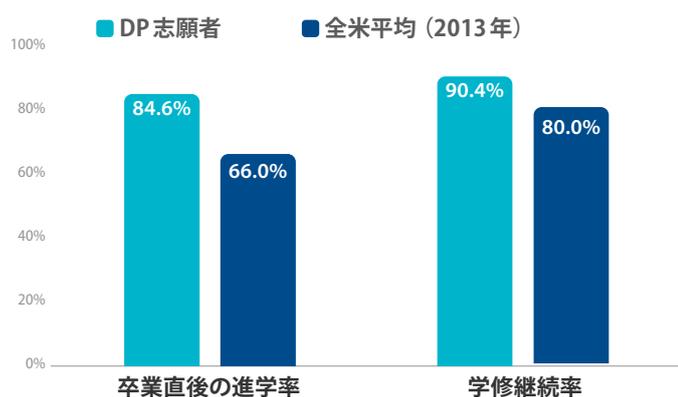


図2：DPの生徒の大学進学率および学修継続率を全米平均と比較（2013年）

東アジアとオーストラリアの有名大学において、DP卒業生の**高校卒業後の経験と成果**を研究しました。DP卒業生は、DPを履修しなかった生徒と比べ、さまざまな21世紀のスキルで平均して高いレベルを示しました。IB卒業生はまた、DPの学習経験が高等教育の土台をつくったと確信していました。特に、教室でのディスカッションやグループ作業の経験、グローバルなものの見方と効果的なコミュニケーションスキルの発達という点で、DPが効果的だったと感じていました（Lee et al 2017）。

2 この調査ではさらに、DPのコースを受講している生徒およびDP志願者のうち3万7348人をサンプルとして、その成果を考察しました。

参考文献

Aldana, U, Mayer, A and Ee, J. 2020. *The impact of the IB Diploma Programme in public schools in the United States serving students from low-income households*. Bethesda, MD, USA. International Baccalaureate Organization.

Beech, J, Guevara, J and del Monte, P. 2018. *Diploma Programme implementation in public schools in Latin America: The cases of Costa Rica, Argentina (Buenos Aires) and Peru*. Bethesda, MD, USA. International Baccalaureate Organization.

Bergeron, L. 2015. *Diploma Programme students' enrollment and outcomes at US postsecondary institutions 2008–2014*. Bethesda, MD, USA. International Baccalaureate Organization.

Caspary, K. 2011. *Research brief: Postsecondary enrollment patterns of IB certificate and Diploma candidates from U.S. high schools*. Bethesda, MD, USA. International Baccalaureate Organization.

Duxbury, V, Westlake, C, Joice, W and Jones, E. 2021. *International Baccalaureate students studying at UK higher education institutions: How do they perform in comparison with A level students?* Bethesda, MD, USA. International Baccalaureate Organization.

Gándara, F, Reeves, A and Schmenner, D. 2021. *Global mindedness in International Baccalaureate schools*. Bethesda, MD, USA. International Baccalaureate Organization.

Halic, O. 2013. *Postsecondary educational attainment of IB Diploma Programme candidates from US high schools*. Geneva, Switzerland. International Baccalaureate Organization.

Hayden, M, Hemmens, A, McIntosh, S, Sandoval-Hernández, A and Thompson, J. 2017. *The impact of creativity, action, service (CAS) on students and communities*. Bethesda, MD, USA. International Baccalaureate Organization.

Higher Education Statistics Agency (HESA). 2011. *International Baccalaureate students studying at UK higher education institutions: How do they fare?* Bethesda, MD, USA. International Baccalaureate Organization.

Higher Education Statistics Agency (HESA). 2016. *International Baccalaureate students studying at UK higher education institutions: How do they perform in comparison with A level students?* Bethesda, MD, USA. International Baccalaureate Organization.

Hopfenbeck, TN, Double, K, El Masri, YH and McGrane, J. 2020. *The effect of the Diploma Programme (DP) on critical thinking development: An international multi-site evaluation*. Bethesda, MD, USA. International Baccalaureate Organization.

Lee, M, Spinks, JA, Wright, E, Dean, J and Ryoo, JH. 2017. *A study of the post-secondary outcomes of International Baccalaureate Diploma Programme alumni in leading universities in Asia-Pacific*. Bethesda, MD, USA. International Baccalaureate Organization.

Pilchen, A, Caspary, K and Woodworth, K. 2020. *Postsecondary outcomes of International Baccalaureate Diploma Programme graduates in the United States*. Bethesda, MD, USA. International Baccalaureate Organization.

イギリスで行われた研究では、イギリスの大学に入学した**IBディプロマの取得者**と**Aレベル資格の取得者の高等教育における成果**を比較しました。その結果は、以前の研究結果（HESA 2016; HESA 2011）と一致しており、IBディプロマの取得者は、Aレベル資格の取得者に比べ、高等教育機関（HEI）上位20校のいずれかに進学する割合が3倍、2等級以上の優等学位を取得する割合が40%、1等級の優等学位を取得する割合が7%高いという結果になりました。さらに、IBディプロマの取得者は、Aレベル資格の取得者に比べ、大学卒業後に大学院等に進学する割合が38%高くなっていました（図3：オッズ比が1を超える場合は、IBの生徒が成果を達成する確率が高いことを示しています）（Duxbury et al 2021）。

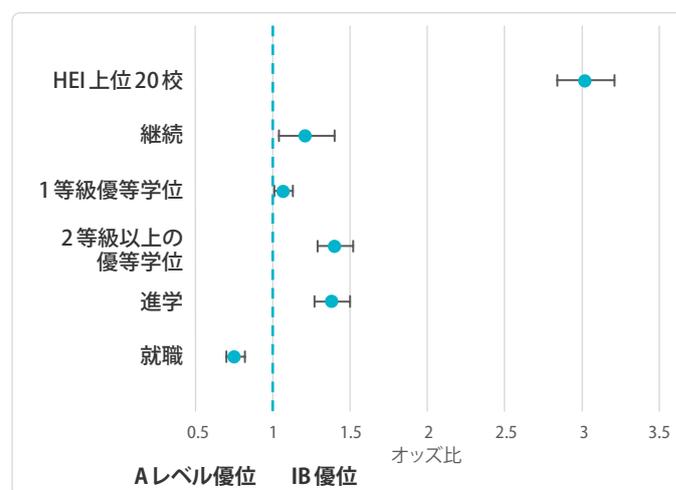


図3：成果別のオッズ比